



PowerPointで動画を作成する方法

PowerPointのスライドに、映像や音声を付け加え、
Moodle等オンライン向けの動画を作成する方法を紹介します。

Ver.1.1 (2022.4.18)

問い合わせ先
学務課 moodle担当
TEL : 088-844-8652 (内8652)
MAIL : elmanabi@kochi-u.ac.jp



目次

1. PC環境のチェック P.3
2. PowerPointの環境チェック P.4
3. 記録（録画・録音）パターンA P.5～
4. 記録（録音のみ）パターンB P.13～
5. 応用編 ビデオ・オーディオの挿入 P.15～

【注意事項】

※ご利用のバージョンや端末（Mac端末等）によっては、この資料の内容と異なる場合がございますので、予め、ご了承ください。

※この資料では、下記のPC環境における操作方法をご紹介します。

OS : Windows 10 バージョン : PowerPoint 2016

ワンポイントアドバイス

■ 動画の長さは短めに！

ひとつの動画は15分以内を目安

それより長いと受講生の集中が続きません。
内容のまとめりごとに分割すると良いでしょう。

■ 録音時は聞き取りやすく！

声の大きさや雑音に気をつける

ヘッドセットや指向性マイクを使用すれば
録音時に周囲の雑音を軽減できます。

■ 録画は一部のスライドだけでもOK！

冒頭やまとめ等だけ講師の姿を見せる

それ以外のスライドには音声のみをつけることでも
十分な効果が期待できます。

1. PC環境のチェック

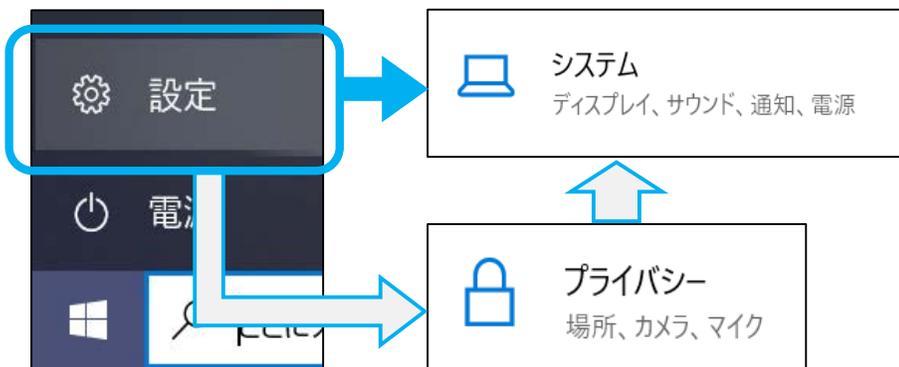
マイクやカメラが動作することを確認しましょう。

- マイク
- Webカメラ（音声のみなら不要）

ご利用のPC端末でTeams等のオンライン会議システムが利用できれば問題ありません。

■ サウンド設定の調整

マイクやスピーカーの音量調整が可能です。
外付けマイク等を利用する場合、デバイスの設定変更も可能です。



アプリがマイク・Webカメラにアクセスできるように「プライバシー」の設定が必要となる可能性があります。

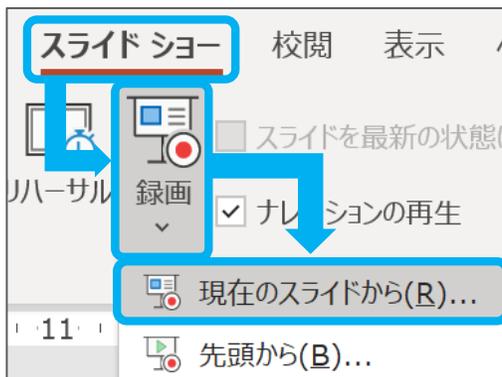
The screenshot shows the Windows 'サウンド' (Sound) settings page. The left sidebar has 'サウンド' highlighted. The main content area is divided into '出力' (Output) and '入力' (Input) sections. Callouts point to specific elements:

- スピーカーの選択** (Speaker selection): Points to the output device dropdown menu.
- スピーカーの設定変更** (Speaker settings change): Points to the 'デバイスのプロパティ' (Device properties) link for the selected speaker.
- マイクの設定変更** (Microphone settings change): Points to the 'デバイスのプロパティ' (Device properties) link for the selected microphone.
- マイクの選択** (Microphone selection): Points to the input device dropdown menu.

2. PowerPointの環境チェック

PowerPointのバージョンによって、録音のみ可能（録画不可）の場合があります。
まずは、PowerPointの環境チェックを行ってください。

- (1) PowerPointを起動し、新規プレゼンテーションを開きます。
- (2) 「スライドショー」タブ内の「録画」から「現在のスライドから…」を選択します。



※PowerPointのバージョンによっては「スライドショーの記録」→「先頭から録音を開始…」と表示される場合があります。



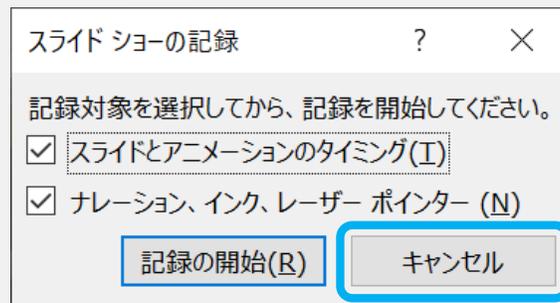
- (3) 下記バージョンのどちらに当てはまるか確認してください。

録画と録音が可能なバージョン



「3. 記録（録画・録音）パターンA」→P.5へ移動

録音のみ可能なバージョン



キャンセルで終了

「4. 記録（録音）パターンB」→ P.13へ移動

3. 記録（録画・録音）パターンA

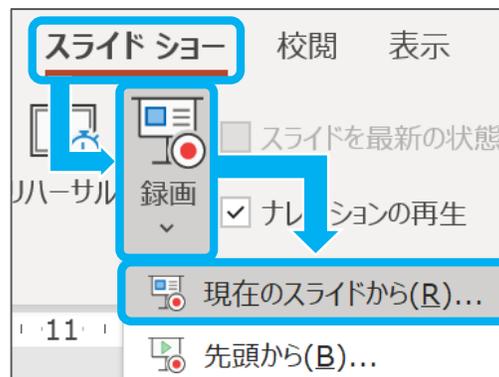
⚠ 録音時の注意点

- カメラ映像と音声の両方を記録するか、いずれか一方のみ記録するか、スライド毎に選択が可能です。ただし、カメラ映像と音声の両方を記録した場合、どちらか一方だけを削除することはできません。
- スライドごとに記録する、または複数のスライドに連続で記録することもできます。
- カメラ映像と音声ファイルを録画後、スライド単位での修正が可能です。

(1) カメラ映像や音声を記録したいPowerPointファイルを開き、「スライドショー」タブを選択します。



(2) 「録画」から「現在のスライドから...」を選択します。



※PowerPointのバージョンによっては「スライドショーの記録」→「先頭から録音を開始...」と表示される場合があります。



(3) 以下の画面が表示されます。カメラ映像および音声の有無、インクカラーペンの設定等を行います。

【編集】
スライドの編集画面に戻ることができます。

【録画】・【一時停止】・【停止】・【ビデオの撮り直し】等のボタンがあります。

【マイク】【カメラ】
利用するカメラやマイクの設定を行います。
【録音をクリア】
スライドから録音をクリアします。撮り直しする場合は、この欄から録画した内容をクリアし、再録画します。

【エクスポート】
録画や録音後に動画ファイルとして保存が可能。保存方法の詳細は、P.10~を参照ください。

【マイク】
選択中のスライドに音声を録音する場合に選択します。
【マイクなし】
選択中のスライドに音声が必要の場合、選択します。

【カメラ】
選択中のスライドにカメラ映像を録画する場合に選択します。
【カメラなし】
選択中のスライドにカメラ映像が必要の場合、選択します。

【スライドの移動】
◀ ▶ で前後のスライドへの移動が可能です。

【レーザーポインタ】
レーザーポインタが利用できます。

【ペンツール】
スライドへ書き込むペンの色と太さを選択します。録画中の変更も可能です。

【カメラプレビュー】
録画中にカメラのプレビューを表示する場合に選択します。
【カメラプレビューなし】
プレビュー画面が不要の場合に選択します。

【ビュー】
録画時の表示を選択できます。ノート機能や次のスライドの表示など、お好みのビューに切り替えられます。

マイク	マイク配列 (Realtek High
カメラ	Microsoft Camera Fron
録音をクリア	現在のスライド すべてのスライド

メッセージを明確に伝えるために、ノートやスクリプトを追加します。
ノートはプレゼンテーションの編集集中に追加でき、記録中にテレプロンプターおよび発表者ツールに表示されます。

PowerPointで動画を作成する方法

スライド 5/11

ペンツール: 色と太さの選択

カメラ/マイク: プレビューとプレビューなしの選択

- (4) ①「」ボタンを押すと、録画が開始されます。

録画中の表示

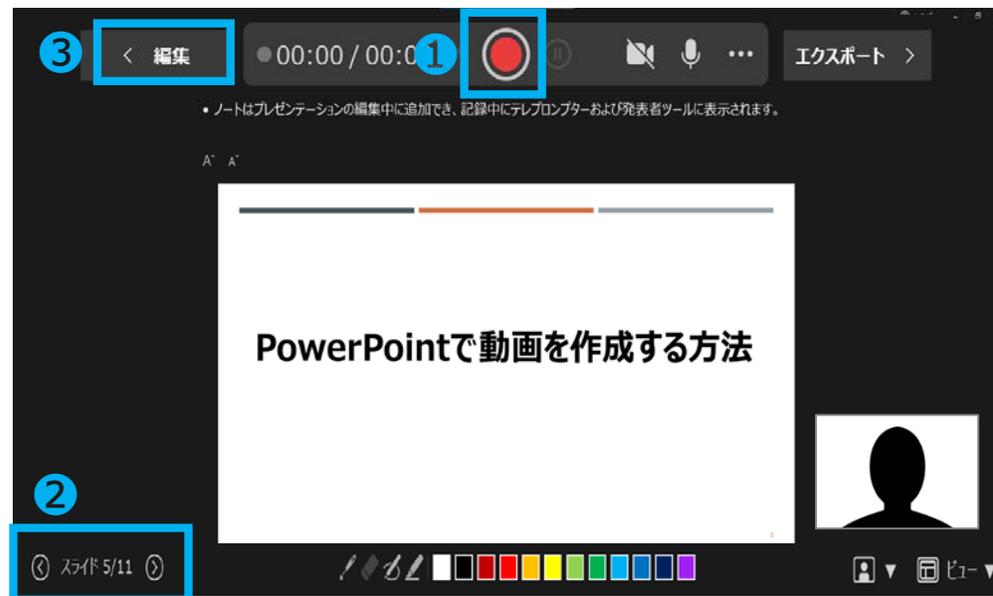


録画を一時停止をする場合は「」ボタンを、停止する場合は、「」のボタンを選択します。

撮り直しをする場合は、「」ボタンを選択します。

※撮り直しをした場合、先に記録していたカメラ映像や音声は削除されます。

※スライドごとの録画も、複数のスライドを一度に録画することも可能です。複数のスライドを一度に録画する場合は、録画中に ②  ボタンを選択し、次のスライドへ移動します。



- (5) 録画終了後、画面右上の③「**編集**」ボタンを選択すると編集画面に戻ることができます。

- (6) 記録したカメラ映像や音声は右図のように表示されます。

カメラ映像と音声を記録した場合



音声のみを記録した場合



■ 記録した動画の調整

- (7) 挿入されたビデオ（右図の**青枠**）を選択し、カメラ映像のレイアウトや大きさを適宜、調整します。
- (8) 挿入されたビデオを選択すると、「**ビデオ形式**」や「**再生**」のメニュータブが表示されます。各メニューから、適宜、ビデオに関する調整を行うことができます。



【ビデオ形式】タブのメニュー

主な機能：挿入されたビデオの色修正や表示サイズのトリミング等



ビデオ映像の色変更、明るさの調整ができる

ビデオ映像の形の変更や効果（影付き等）の追加ができる

【再生】タブのメニュー

主な機能：挿入されたビデオ映像のトリミング、音量調節等



ビデオ映像のトリミングができる

ビデオ映像の音量の調整ができる

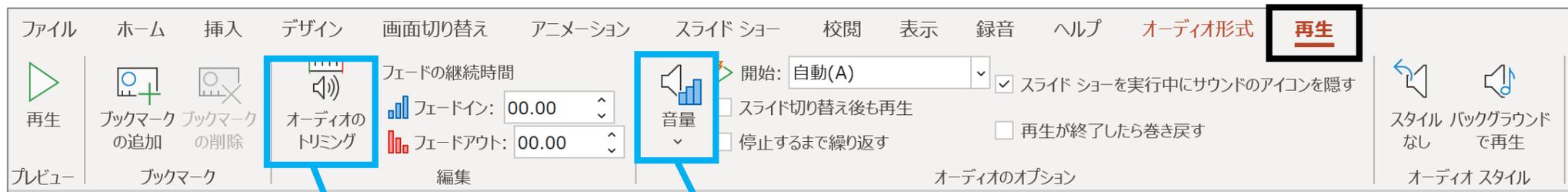
■ 記録した音声の調整

- (9) 挿入された音声（右図の青枠）を選択し、適宜、調整を行います。
- (10) 挿入された音声を選択すると、「再生」タブが表示されます。各メニューから、適宜、音声に関する調整を行うことができます。



【再生】タブのメニュー

主な機能：挿入された音声のトリミング、音量調節等



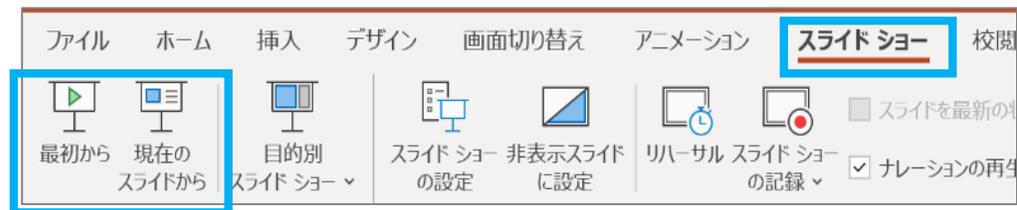
音声のトリミングができる

音量の調節ができる

※調整後、いったんPowerPointファイルを保存しておくことをお勧めします。

■ 記録した映像や音声の確認

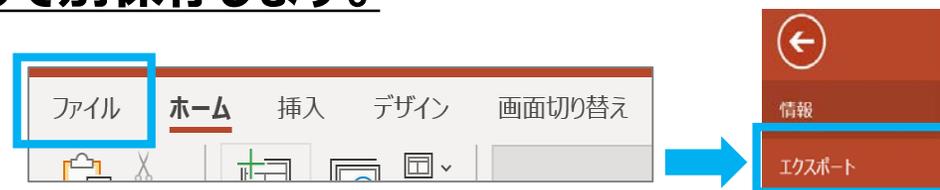
- (11) 「スライドショー」タブ内の「最初から」または、「現在のスライドから」を選択します。
スライドショーにて、映像や音声を確認します。



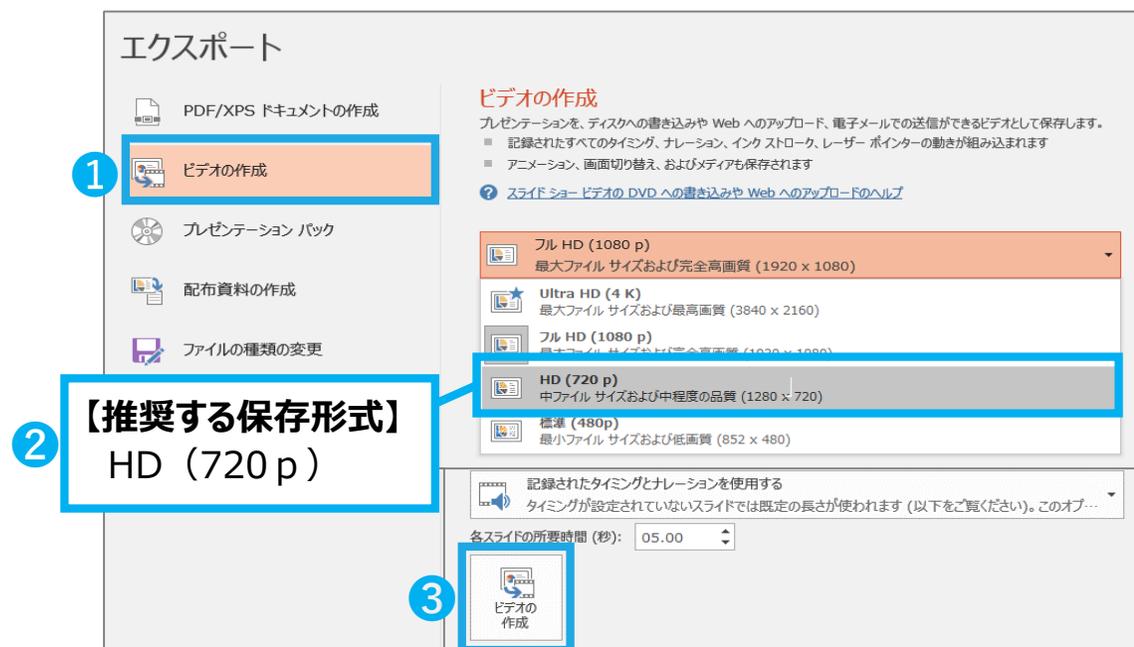
■ 保存

PowerPointファイルをビデオファイル（.mp4形式）として別保存します。

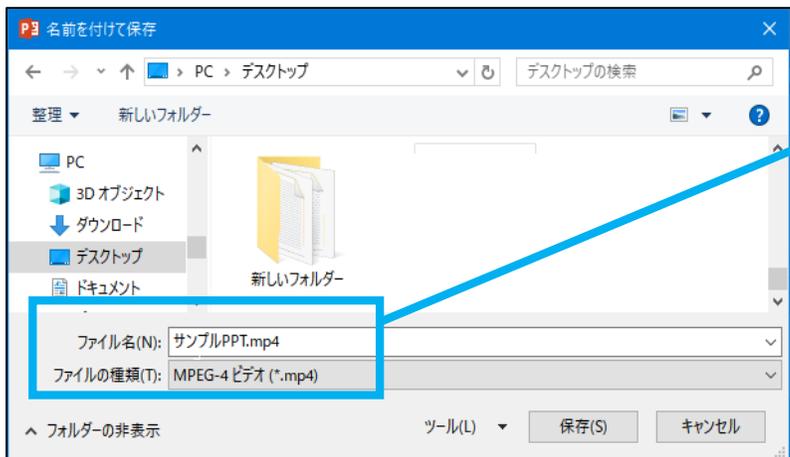
- (12) 「ファイル」タブ内の「エクスポート」を選択します。



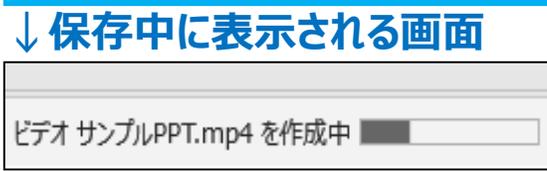
- (13) 右図の①「ビデオの作成」を選択します。
次に、②ビデオの画質を選択後、
③「ビデオの作成」を選択します。



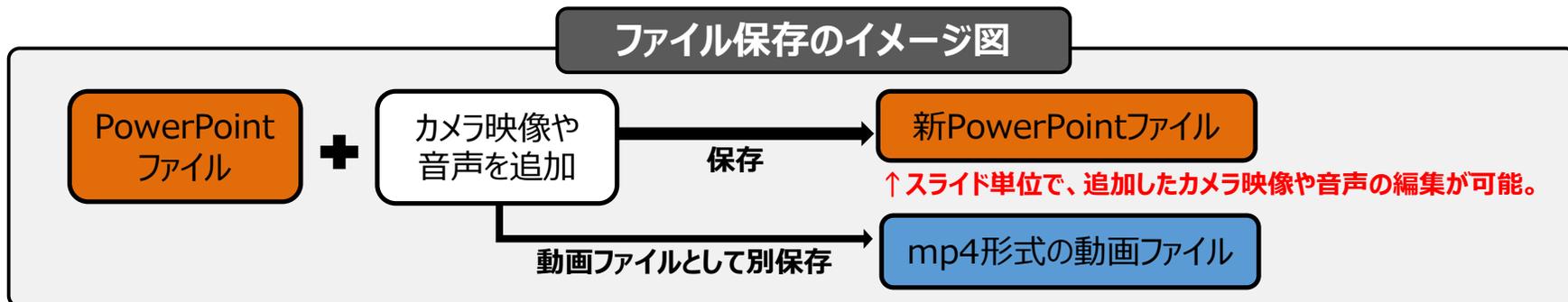
(14) 下図のファイル保存の画面が表示されるので、任意の場所にファイルを保存します。



※ファイルの種類は「**MPEG-4ビデオ (mp4)**」を選択します。
「**mp4形式**」・・・動画ファイル形のひとつで、パソコンやスマートフォン等のさまざまなOS・ブラウザでの再生に対応しています。



※録画時間の長い動画の場合、保存完了までに時間がかかる場合があります。



■ 動画ファイルとして別保存した後は...

別保存した動画ファイル (.mp4形式) を高知大学moodleに掲載する方法は、「[高知大学moodle 教員用簡易マニュアル](#)」の「[ストリーミング動画配信](#)」を参照ください。当該マニュアルは、下記に掲載しています。

- [高知大学moodle単年度版トップページ](#) 画面右側の「[マニュアル](#)」一覧

高知大学moodle単年度版トップページ



高知大学moodle マニュアル

教員用

1. 教員用簡易マニュアル
2. 小テスト簡易マニュアル
3. バックアップ&リストア・インポート方法
4. 教員用 Q & A
5. Office365版PowerPointを動画にする方法
6. Teams授業の開講方法

学生用

1. 学生用簡易マニュアル
2. Teams授業の受講方法

[moodle マニュアルコース](#)
さらに詳しい資料は上記コースに掲載します。

■ 録画したPowerPointファイルの編集

例 1) スライドに挿入した動画ファイルと手書き注釈を削除する

- (1) PowerPointファイルを開き、編集するスライドを表示します。
- (2) 削除するビデオ映像①を選択し、「delete」キーを押します。
次に、削除希望の手書き注釈②を選択し、「delete」キーを押します。



例 2) スライドに挿入した音声ファイルを削除する

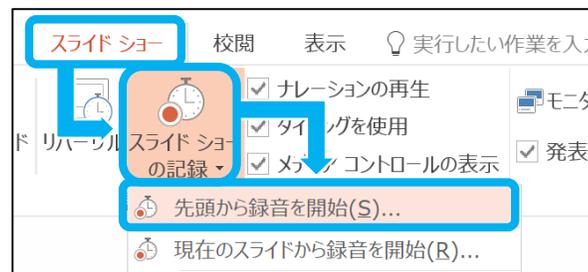
削除希望の音声ファイルを選択し、「delete」キーを押します。

※新たに音声やカメラ映像を記録する場合は、P. 5 ~と同じ方法で編集を行います。



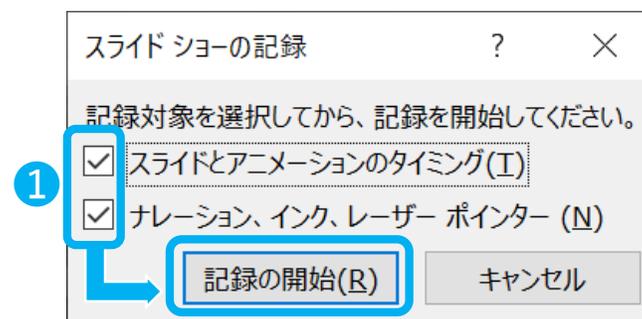
4. 記録（録音のみ）パターンB

(1) 「スライドショー」タブ内の「スライドショーの記録」から「先頭から録音を開始...」を選択します。

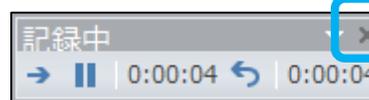


(2) 記録する対象を指定します。①の両方にチェックを入れた後、「記録の開始」から録音を開始します。

スライドとアニメーションのタイミング : スライドの切り替わり時点
ナレーション、インク、レーザーポインタ : 音声、板書



(3) 記録中は画面左上に右図のポップアップ画面が表示されます。録音しながらスライドを進めてください。最後のスライドが終わると記録は完了です。



記録を中止する場合
×をクリック

(4) 記録が完了したスライドには、画面右下にスピーカーアイコンが表示されます。(スライドショーの再生時には表示されません)



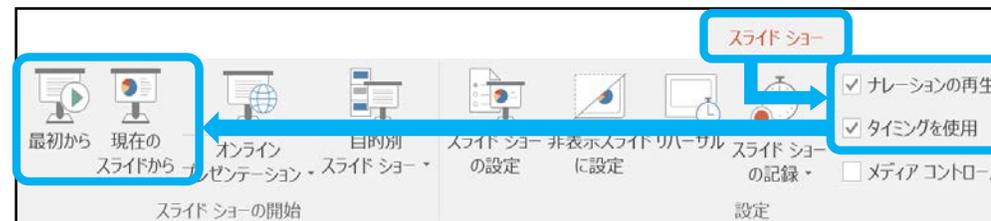
アイコンをクリックすると
シークバーが表示される

スライドを再編集した時などに、音声ミュートになってしまうことがあります。シークバーの右下にあるスピーカーマークでミュートの有無や音量が確認できます。

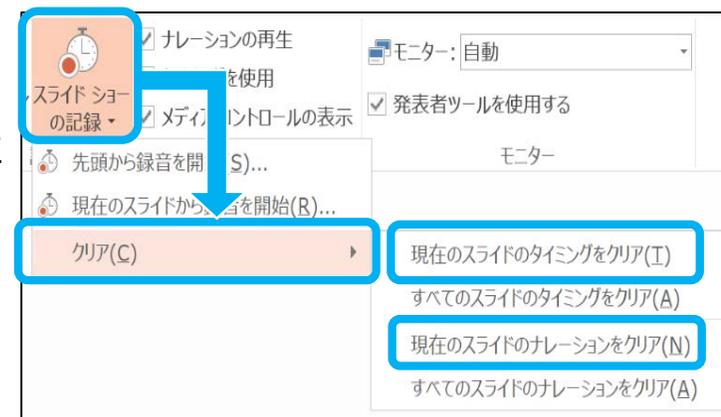


■ 適切に録音されなかった場合の再記録方法

(5) 「スライドショー」タブにある「ナレーションの再生」と「タイミングを使用」にチェックが入っているか確認後、「最初から」または「現在のスライド」から、録音内容を確認してください。

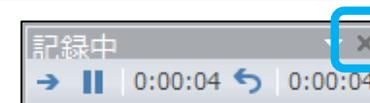
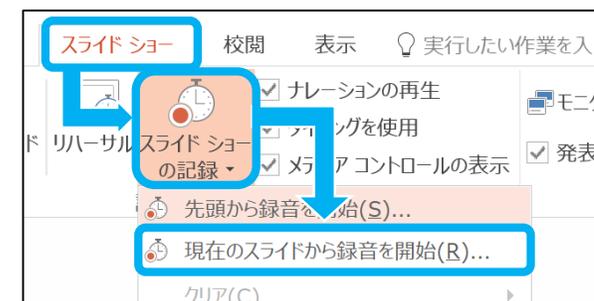


(6) 適切に録音されていなかった場合、再記録したいスライドを選択後、タイミングとナレーションをクリアして再記録します。「スライドショーの記録」内の「クリア」から、「現在のスライドのタイミングをクリア」と「現在のスライドのナレーションをクリア」をそれぞれ行います。



全スライドを再記録したい場合は、「すべてのスライドのタイミングをクリア」と「すべてのスライドのナレーションをクリア」を選択します。

(7) 再記録したいスライドを選択後、「現在のスライドから録音を開始」で再記録します。



※動画ファイル (.mp4形式) として別保存する方法は、P.10～の「保存」と同じです。

5. 応用編 ビデオ・オーディオの挿入

PowerPointのスライドに、あらかじめ用意した動画や音声ファイルを挿入することができます。
「記録（録画・録音）パターンA（P5～）」や「記録（録音のみ）パターンB（P13～）」の方法で録画または録音を行う際、このページの方法で挿入したビデオやオーディオファイルを再生しながら、録画または録音を行うことができます。

■ 挿入できる主なファイルの種類



- (1) 動画や音声ファイルを追加したいスライドを選択します。



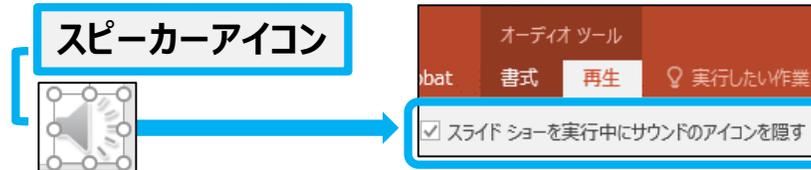
【動画ファイルの挿入】

- (2) 「挿入」タブ内の「ビデオ」から「このデバイス」を選び、追加したい動画ファイルを選択します。
- (3) 動画がシークバー付きでスライド上に配置されるので、位置やサイズ等を調整します。



【音声ファイルの挿入】

- (2) 「挿入」タブ内の「オーディオ」から「このコンピューター上のオーディオ」を選び、追加したい音声ファイルを選択します。
- (3) 音声スピーカーアイコン付きでスライド上に配置されます。



再生中にアイコンを非表示にしたい場合、「オーディオツール」の「再生」タブから「スライドショーを実行中にサウンドのアイコンを隠す」をチェックしてください。

■参考 PC内のアプリを使って動画や音声ファイルを作成する

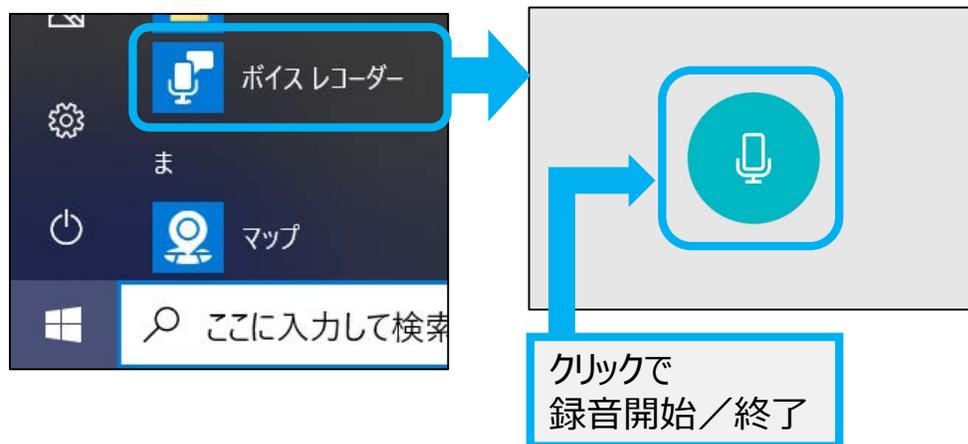
PC内の既存アプリで録画や録音を行うことも可能です。

作成した動画や音声ファイルをP.15の方法で、PowerPointのスライドに挿入することができます。

【録画】カメラ



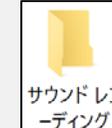
【録音】ボイスレコーダー



録画終了した動画 (.mp4) は自動的に**ピクチャ**へ保存されます。



録音終了した音声 (.m4a) は自動的に**サウンドレコーディング**へ保存されます。



※保存先は、PCの設定によって異なる場合があります。